

指標 9.2.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 9.2.1 GDP に占める製造業付加価値の割合及び一人当たり製造業付加価値

ターゲット 9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

ゴール 9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

定義及び根拠

○ 定義

この指標は製造業付加価値（MVA）と国内総生産（GDP）の比（パーセント表示）によって定義される。

一人当たり製造業付加価値はMVAを一国の総人口で割ったものである。

○ 概念

GDPは産出額から中間消費を引いたものと定義され、雇用者報酬、総営業余剰・混合所得、生産・輸入品に課される税（控除）補助金の合計と一致する。

製造業は国際標準産業分類（ISIC Rev4）における、Sector Cに属する産業を指す。

○ 根拠及び解釈

MVAは、国の産業化の度合を測る指標として研究者や政策担当者に広く認知されている。GDPにおけるMVAのシェアは、一般的に経済や国内発展における製造業の役割を表したものである。

一人当たりMVAは、その国の経済規模を加味した産業化の度合を測る基礎的な指標であり、統計的な利用方法の一つとして、産業の発展段階に応じた国のグルーピングに用いられている。

データソース及び収集方法

内閣府『国民経済計算』主要系列表3 経済活動別国内総生産

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

製造業付加価値の占める割合 = $MVA / GDP * 100$

一人当たり製造業付加価値 = $MVA / 総人口$

○ コメントと限界

各国が採用する SNA 基準や国際標準産業分類のバージョンの差異が起こり得る。

データの詳細集計

なし

参考

https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kakuhou/files/h29/h29_kaku_top.html

データ提供府省

内閣府経済社会総合研究所

関連政策府省

担当国際機関

国連工業開発機関 (UNIDO)